

平成19年6月分電力需給状況

需要の概要

平成19年6月の販売電力量は、22億4千3百万kWh時、前年比 102.4%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、5月中・下旬の気温が前年に比べ高めに推移し、空調需要が増加したことなどから、前年比 104.5%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、自家発電の廃止などから、前年比 102.6%となった。

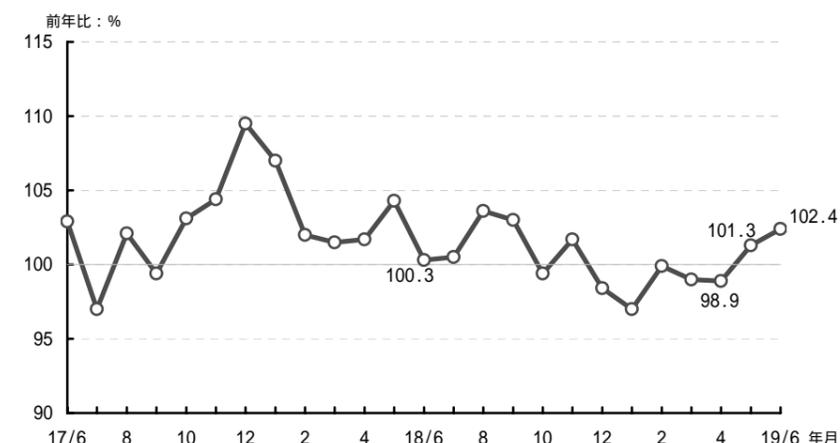
産業用の「大口電力」は、化学、鉄鋼が前年を下回ったものの、紙・パルプなどが前年を上回ったことから、前年比 102.1%となった。

需要実績

		(百万kWh時、%)	
		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	645	104.5
	電 力	150	101.8
	計	795	104.0
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	532	102.6
	産業用電力	916	100.9
	うち大口電力	(709)	(102.1)
	計	1,448	101.5
販売電力量 計		2,243	102.4
融 通		543	111.3

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



大口電力の主な産業別内訳

		(百万kWh時、%)		
		前年比		
		19/6月	19/5月	19/4月
紙・パルプ	136	113.9	106.1	107.7
化 学	145	96.8	98.1	100.3
鉄 鋼	76	94.0	112.2	114.5
機 械	148	100.8	100.2	100.0
そ の 他	204	103.3	108.2	107.6
合 計	709	102.1	104.4	105.3

(参考2) 4県都平均気温

	19/5月				19/6月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
	実績	19.0	18.9	20.9	19.6	21.3	22.8	26.0
平年差	1.3	0.2	1.0	0.8	0.2	0.3	2.5	0.9
前年差	0.5	0.6	0.3	0.1	0.7	0.7	1.7	0.1

供給の概要

- 原子力は、前年の定期検査等の反動により、前年比 251.4%となった。
- 水力は、渇水により、前年比 48.7%となった。
- 火力は、前年の原子力停止による発電増加の反動により、前年比 79.5%となった。

供給実績

		(百万kWh時、%)		備 考
		電力量	前年比	
原子力	(41)	1,267	251.4	出水率 54.8% (18年6月出水率 105.2%)
水 力	(6)	198	48.7	
火 力	(52)	1,638	79.5	
新エネ	(1)	17	211.7	
発電電計	(100)	3,120	104.8	
その他		29		
供 給 計		3,091	103.4	

注：()内は構成比

(参考3) 各県別の需要状況

		(百万kWh時、%)						
		徳 島	高 知	愛 媛	香 川			
販売電力量計	(98.5)	506	(101.6)	366	(104.7)	785	(103.4)	586

注：()内は前年比